

2005 年は日本映画がおもしろかった

3月・5月例会は、午前の部を試行

新年おめでとうございます

昨年の年頭には、活動が安定してきたことと、3周年記念事業として、加古川市民会館中ホールでの映画上映会を行うことと、会員数を200人以上にすることを掲げました。振り返ってみると、いちばん心配していた「父と暮せば」上映会については、会員をはじめいろいろな皆さんの協力により無事成功しました。また、市内で開催される映画上映会への協力はある程度行うことができました。一方、会員数については、あと一步のところまで頭打ちの状態です。

今年は、この会が安定して活動できるよう240人の会員数を達成したいと思います。現状のままでは、来年度のうちに会計収支が少し赤字になりそうです。運営委員会では、いつも、会員数が200人にならないと運営が厳しいという話題になってしまいます。会員の皆さんには、映画好きな知り合いがいれば、お声がけいただきますようお願いいたします。新入会を促進するために、3月例会からは、午前の部を試行予定です。

次回例会

名称 / 第22回例会「コーラス」

日時 / 2006年1月24日(火) PM2:00~、PM4:20~、PM6:40~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

タイトル / コーラス (LES CHORISTES)

監督 / クリストフ・バラティエ

出演 / ジェラルド・ジュニョ、フランソワ・ベルレアン、ジャン＝パティスト・モニエ、マリー・ビュネル、カド・メラッド、マクサンス・ペラン、ジ



ヤック・ペラン

合唱 / サン・マルク少年少女合唱団

データ / 2004年、フランス、カラー、1時間37分、16mm、ドラマ、2004年度アカデミー賞 外国語映画賞・オリジナル歌曲賞 ノミネート、2004年度ゴールデン・グローブ賞 外国語作品賞 ノミネート、2004年度英国アカデミー賞 脚色賞・外国語映画賞・作曲賞 ノミネート、2004年度ヨーロッパ映画賞 音楽賞 受賞、作品賞・監督賞・男優賞 ノミネート、2004年度セザール賞 音楽賞・音響賞 受賞、作品賞・監督賞・主演男優賞・助演男優賞・新人監督作品賞・美術賞 ノミネート

ストーリー

世界的指揮者のピエールは、母親の葬儀のために帰郷する。そんな彼に、古い友人のペピノが一冊の日記を手渡した…。時は、1949年のフランス。問題児が集まる寄宿舎へ、新しい音楽教師マチューが赴任した。子供たちの酷いイタズラに迎えられたマチューだが、何よりも、体罰で規律を保とうとする校長に疑問を持つ。子供たちの心を開くため、合唱団を結成したマチューは、学校一の問題児、ピエールの美声に驚嘆する。やがて子供たちは、歌を通じて純粋な心を取り戻していくのだが…。

前回例会の報告

11月24日の例会では、「大統領の理髪師」を鑑賞しました。参加会員139人。

感想から

・しみじみとして楽しませてもらいました。メジャーで見ることの出来ない映画が多く楽しみにしてい

ます。(50歳台、女性)

・韓国の映画は、すごく悲しい結末が多いので、悲しいといやだなあと思っていたら希望のある終わり方で良かった。一般の人が、国のトップである場所にまきこまれていくつらさがわかった。主演のソン・ガンホもだけど、子役(息子)が悲しい場面をそうじゃなく演じ余計に悲しかった。(30歳台、女性)
・お隣の国なのに、何も知らなくて恥ずかしかった。でも、ごく一市民の生活がよく描けていてよかったです。人間一番大事なことは愛=人間愛だと確信しました。(60歳台、女性)

上映会の報告

12月13日に、加古川市民会館中ホールで、兵庫県映画センターと共催した「わらびのこう(藤野行)」上映会には、2回で784人の来場者がありました。ありがとうございました。

忘年会の報告

12月16日に、加古川駅前の月の庵で忘年会を開きました。参加者は、男性3名女性8名の11名で、例年と比べ、宴会好きの男性の参加が少なかったのですが、楽しくいろいろな放談をしました。

2005年は日本映画がおもしろかった

そのとき、恒例の「忘年会で選ぶ2005年映画ベスト5」の選考を行いました。全体に映画を観た数が少なかったため、話題作品のほかは盛り上がりに欠けましたが、韓国映画を押し退けて圧倒的に日本映画の作品の話題に集中したのが今年の特徴です。

2004年の後半期からの日本映画の盛り上がりは2006年も続きそうです。

忘年会で選ぶ2005年映画ベスト5

第1位「パッチギ!」、第2位「ALWAYS三丁目の夕日」、第3位タイ「いつか読書する日」、第3位タイ「マラソン」、第5位「埋もれ木」、補欠(高得点順)「リングダ リングダ」、「チャーリーとチョコレート工場」、「エイプリルの七面鳥」、「ブリジット・ジョーンズの日記」、「亡国のイージス」、「星になった少年」、「蝉しぐれ」、「ローレライ」、「NANA」、「春の雪」、「ハリー・ポッターとアズカバンの囚人」、「僕の彼女を紹介します」。

第1位の「パッチギ!」については、絶賛する人とまあまあの作品の評価に分かれていましたが、総合評

価が高かった。第2位の「ALWAYS三丁目の夕日」は強く押す人はいなかったのですが、秀作であることに對する批判もありませんでした。「いつか読書する日」、「蝉しぐれ」、「春の雪」は、日本映画の底堅さを示しています。第5位の「埋もれ木」は、この日の会話の落ちに使われた作品。ストーリーよりインパクト重視だろうか。さて、外国映画は、推薦作品も少なく、韓国の感動作「マラソン」が3位にはいったくらいで、それに次ぐのは米国の話題コメディ「チャーリーとチョコレート工場」と感動作「エイプリルの七面鳥」というところでした。

3月・5月例会は午前の部を試行

主に主婦の方ですが、この会に入会を薦めたとき、「映画は観たいけれど午前中しか時間が無いから...」と、午前中に例会があれば、入会を考えるとという声がありました。

そこで、3月例会から午前の部(10:15頃から)を試すことにしました。このことで新入会員50人が見込めそうであれば、午前の部を定例化させたいと思います。

午前の部を行うとなると、映写回数が3回から4回に増え、フィルム使用料(フィルムによっては映写技師料)、会場使用料が増額されること、さらに、会場準備のスタッフの負担が大きくなるなどの短所が多くあります。したがって、新入会員数をあまり望めないと判断した場合は、午前の部は止め、元の状態に戻す予定です。試行期間は、午前の部の参加者には、このことを説明して参加していただきます。

多くの入会をお待ちしています。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 199人(12月31日現在)